

M16C/60シリーズ PC4701用エミュレーションポッドご使用上のお願い

エミュレーションポッド使用時の、メモリマップの設定に関する注意事項を連絡します。

1. 該当製品

サポートMCU	製品型名	対象シリアルNo.
M16C/62P, および M16C/30Pグループ	M3062PT3-RPD-E	全製品
	M3062PT3-RPD	シリアルNo.末尾がA (TSおよびWS品からの バージョンアップ品)
M16C/62N, および M16C/30Lグループ	M3062NT3-RPD-E	全製品
M16C/24グループ M30245	M30245T3-RPD-E	全製品
	M30245T-RPD	シリアルNo.末尾がM (TS, WS, およびES品からの バージョンアップ品)
M16C/6Nグループ M16C/6N4, /6N5, /6NK, /6NL, /6NM, および/6NN	M306NKT3-RPD-E	全製品
	M306NKT3-RPD	全製品
M16C/6Nグループ M16C/6N4, および/6N5	M306N4T3-RPD-E	全製品
M16C/6Hグループ M306H3	M306H3T3-RPD-E	全製品
	M306H3T3-RPD	全製品

2. 内容

エミュレーションポッドをメモリ拡張モードまたはマイクロプロセッサモードで使用しており、かつ

スタックとして使用する領域のメモリマップの設定が "External" の場合に、デバッグ操作（例えば、ユーザプログラム停止、メモリの参照や変更などの操作）をした後、レジスタROおよび0000Ah番地のデータが不定値になります。

メモリマップ設定

Internal： エミュレーションポッド内のエミュレーションメモリを使用します。

External： ターゲット基板上のメモリまたはエバリュエーションMCU内の資源を使用します。

3. 回避策

スタックとして使用する領域のメモリマップ設定は、"Internal" にしてください。

メモリマップの設定方法：

- Script Windowで、mapコマンドを使用して設定してください。

例) 8000h番地から8FFFh番地を"Internal"に設定する場合

Script Windowで、コマンドラインから以下を入力してください。

```
-----  
map 8000,8FFF,INT  
-----
```

mapコマンドについては、オンラインヘルプの [リファレンス] → [スクリプトコマンド一覧 (機能順)] → [Map] に書式、機能の説明がありますのでご参照ください。

なお、スタックとして使用される領域のメモリマップ設定を"External"にした場合、デバッグ操作のうちプログラム実行のみが使用可能です。

4. 恒久対策

エミュレータデバッガM3T-PD30の次期バージョンアップ時に、改修予定です。

エミュレーションポッドの改修は必要ありません。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。